

令和4年度

試 験 曲

音楽学部個別学力検査等

<一般選抜>

<学校推薦型選抜>

目次

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー	1
各専攻試験において入学前に身につけておいてほしい力	3
I 一般選抜	
1 試験科目一覧	5
2 各科目の実施方法	5
3 録画媒体の提出について	6
4 オンラインにより実施する試験について	6
5 備考	6
6 試験内容及び試験曲等	
<<専攻試験>>	
(1) 音楽表現専攻声楽コース	7
(2) 音楽表現専攻ピアノコース	8
(3) 音楽表現専攻弦楽コース	8
(4) 音楽表現専攻管打楽コース	11
(5) 音楽表現専攻作曲理論コース	15
(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース	16
(7) 音楽文化専攻音楽学コース	16
(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	17
(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	17
(10) 社会人選抜（琉球芸能専攻）	18
<<音楽に関する基礎能力検査>>	
(1) 楽典	19
(2) 聴音	19
(3) 新曲視唱	19
(4) 副科ピアノ	20
(5) 音楽又は舞踊の実技	20
II 学校推薦型選抜	
1 試験科目一覧	27
2 各科目の実施方法	27
3 録画媒体の提出について	28
4 オンラインにより実施する試験について	28
5 備考	28
6 試験内容及び試験曲等	
<<専攻試験>>	
(1) 音楽表現専攻声楽コース	29
(2) 音楽表現専攻ピアノコース	29
(3) 音楽表現専攻弦楽コース	29
(4) 音楽表現専攻管打楽コース	29
(5) 音楽表現専攻作曲理論コース	34
(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース	34
(7) 音楽文化専攻音楽学コース	34
(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース	34
(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース	34
<<音楽に関する基礎能力検査>>	
(1) 楽典	35
(2) 聴音	35
(3) 新曲視唱	35
(4) 副科ピアノ	35
(5) 音楽又は舞踊の実技	35
III 入試問題例・解答例	37

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【教育の理念】

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄で育まれた個性ある音楽・芸能及び普遍的価値を持つ音楽芸術の体系的な研究を通じ、それらの継承発展とともに新たな芸術創造に寄与できる人材育成を目指します。そのために、専門分野における知識・技能を深めるとともに、広い視野を持って思考し、問題解決を行うために必要な教養を身につける教育を行います。

【求める人材】

音楽学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び音楽学部のポリシーを十分理解し、大学での学習に自律的に取り組むことのできる人
- 2 音楽学部における学習に必要な基礎的知識・技能及び課題解決のための思考力・判断力・表現力を備えている人
- 3 自身の知識・技能をさらに伸ばし、将来、演奏家、作曲家、実演家、研究者又は教育者など、音楽・芸能分野における専門家となる意欲のある人
- 4 芸術創造の営みについて、現代社会との関わりの中で思考し、主体性を持って多様な人々と協働する意欲のある人
- 5 音楽や舞踊、沖縄における芸術文化や本学での学びに関心がある人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

音楽学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。その際、大学入学前に学んでおくべき内容・水準について、募集要項と併せて公表する『試験曲』によって明示するものとします。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語の2科目を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力等を測り評価します。また、個別学力検査等において、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。本区分においては、全般的な学習能力について総合的に評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、大学での学習に必要な知識、技能及び主体性等を測り評価します。本区分においては、専門分野における高い能力、調査書及び志願者本人の記載する書類等をもとに実施する面接等における評価を重視します。また、高等学校長からの

推薦書を活用します。

- 3 社会人選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力及び主体性などを測り評価します。本区分では、専攻実技の習熟度及び小論文・口述試験の内容を重視し評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 学生の多様な資質・能力を伸長するための少人数による教育
- 2 専門教育（主要科目）における、4年間にわたる段階的履修
- 3 各専門分野における基本的知識・技能を培うための、必修科目を中心とした体系的・横断的な科目編成
- 4 自然や地域、言語、芸術諸分野及び一般教養など幅広い教養を通して、汎用的基礎能力を身に付けるための全額教育科目の編成
- 5 学生の多様な関心や課題発見を促し自律的に学習できる選択科目の編成
- 6 様々な学びを統合し、地域・社会との連携を通して、芸術（音楽・芸能）と社会との関係を学ぶ科目の提供

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で、授業科目の到達目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について体系的に理解している。
- 2 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について歴史、文化、社会、自然と関連付けて理解できている。
- 3 課題解決に必要な汎用的能力（論理的思考力、情報リテラシー、コミュニケーション・スキル等）を身につけている。
- 4 各分野の専門的な知識・技能と研究能力を身につけている。
- 5 卒業後も社会における自己の役割を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 6 獲得した知識や能力等を活用し、自らの課題を発見し解決する能力を身につけている。

各専攻試験において入学前に身につけておいてほしい力

【音楽表現専攻】

声楽コース <課題曲、自由曲、コールユーブンゲン>

- ・声楽実技における基礎的能力（無理のない発声、正しい音程・リズム・発音、コールユーブンゲン）
- ・音楽の基礎的能力（読譜力、ピアノを使用しての音取り、歴史や文学に関する基礎知識）
- ・語学力（イタリア語やドイツ語の辞典の引き方がわかる、発音記号が読める）
- ・主体的な表現力

ピアノコース <課題曲 A, B, C>

- ・ピアノ実技における基礎的能力（ピアノの基本的奏法における技術的習熟、各課題における様式の理解、正確な読譜力）
- ・音楽の基礎的能力（スケールやアルペジオの継続的訓練、ソルフェージュ、楽典）
- ・主体的な表現力（演奏における自発的表現力、音色の変化と多様性、完成度）

弦楽コース <音階、課題曲 A, B>

- ・弦楽実技における基礎的能力（弦楽器の適切な取り扱い、身体に適合した奏法（フォームや運弓法等）
精確な音程による演奏、様々な演奏技術への理解と再現能力、豊かな響きと多彩な音色）
- ・音楽の基礎的能力（音楽理論の知識、和声及び調性感、正確な読譜力）
- ・主体的な表現力（上記を踏まえた音楽的構成力、自発的な音楽表現）

管打楽コース <音階、課題曲>

- ・管打楽器実技における基礎的能力（基本的奏法、音色、音程やリズムの正確さ、調性感）
- ・音楽の基礎的能力（読譜力、楽典の知識、作品の構成などを理解する力）
- ・主体的な表現力

作曲理論コース <作曲実技、口述試験>

- ・作曲実技における基礎的能力（手書きの記譜法についての知識、和声学の知識）
- ・音楽の基礎的能力（楽式についての知識、楽器についての知識、調性音楽に関する知識）
- ・主体的な表現力（音楽への深い興味）

【音楽文化専攻】

沖縄文化コース・音楽学コース <小論文、口述試験>

- ・音楽や舞踊に対する基本的な知識や理解
- ・論理的思考力
- ・文章構成力および表現力

【琉球芸能専攻】

琉球古典音楽コース <調弦、課題曲、自由曲>

- ・歌三線・箏の基本的な取扱い（構え方、バチ・爪使い）
- ・正確な調弦
- ・様々な琉球古典音楽の演奏表現力（発声、発音、音程、吟使い、節入り、テンポ、姿勢）

琉球舞踊組踊コース <課題曲、自由曲、初見演技、初見視唱>

課題曲・自由曲について

- ・琉球舞踊実技における基礎的な型とこなし（姿勢、構え方、歩み、目付き）
- ・琉球舞踊実技における基礎的な表現力（動作と音曲との合わせ方、リズム感）

初見演技について

- ・琉球舞踊女手踊り（小道具を持たない）の基本的な型
初見視唱について
- ・課題組踊の基礎的な唱え（姿勢、発声、吟使い、抑揚）
- ・課題組踊の基礎的な表現力（役柄：若衆・女・小僧）

<一般選拔>

I 一般選抜

1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専攻試験 (第1次試験)					音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)					面接
		実技 検査	コールユー ブ・ソング ン	初見 視唱	小論文	口述 試験	楽典 (注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	音楽又 は舞踊 の実技 (注3)	
音楽 表現	声楽	◎	◎				◎	○	○	◎		◎
	ピアノ	◎					◎	◎	◎			◎
	弦楽	◎					◎	○	○	◎		◎
	管打楽	◎					◎	○	○	◎		◎
	作曲理論	◎				◎	◎	◎		◎		◎
音楽 文化	沖縄文化				◎	◎	◎				◎	◎
	音楽学				◎	◎	◎	○	○	◎		◎
琉球 芸能	琉球古典音楽	◎			※	※	◎					◎
	琉球舞踊組踊	◎		◎	※	※	◎					◎

注1. ◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目、○印は、「いずれか1つの科目を選択する」を示す。

※印は、社会人選抜のみ（但し音楽に関する基礎能力検査は受験しない）

注2. 沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3. 音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4. 声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器 (A:小太鼓、B:マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

注5. 弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注6. 各専攻の個別学力等（実技検査を含む）については、第1次試験と第2次試験に分けて実施するが、第2次試験については、第1次試験合格者についてのみ実施する。

2 各科目の実施方法

実技検査 副科ピアノ 音楽又は舞踊の実技

録画媒体(DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか)の提出により実施する。

指定する方法で課題の演奏録画を提出すること。なお、演奏環境、画質等は審査に影響しない。

注意事項は、各コース、科目欄の記載に従うこと。

小論文 作品

課題の提出により実施する。

口述試験 面接 初見視唱
オンラインにより実施する。

楽典
オンラインにより実施する。

聴音
オンラインにより実施する。

新曲視唱
オンラインにより実施する。

コールユーブンゲン
オンラインによる演奏審査にて実施する。

初見演技
今年度は実施しない。

3 録画媒体の作成および提出について

【録画媒体、形式について】

- (1) 録画媒体は、以下のいずれかとする。
DVD USB メモリ SD カード(含 microSD カード)
- (2) USB メモリ、SD カードのフォーマット形式は以下のいずれかとする。
NTFS FAT32 exFAT
- (3) 動画ファイル形式は、以下の形式とする。
MOV MP4 AVI WMV MPG
- (4) 試験科目ごとに別の録画媒体に録画すること。

【録画について】

- (1) 本人確認のため、録画の初めに顔を映すこと。その際、名前等は言わないこと。
- (2) 各コース専攻試験並びに、各試験科目の注意事項や【録画撮影に関する特記事項】をよく読んで、指定に従うこと。
- (3) すべての課題を通して録画し、録画中は中断しないこと。ただし、弦楽コース専攻試験については、当該試験の【録画撮影に関する特記事項】の指定に従うこと。
- (4) カメラの位置は固定し、ズーム等を行わないこと。
- (5) 一切の編集、加工を行わないこと。映像と音声が一致していない場合や、映像や音声を加工したと判断した場合には失格となる可能性がある。
- (6) 演奏環境、画質等は評価に影響しない。ただし、録画の状態が極端に不良である場合（音声や映像の歪みや途切れ等）、または各コース専攻試験や科目の指定に準じていない場合には、採点できないことがある。

【提出について】

- (1) DVD を提出する場合は、提出前にファイナライズ処理を必ず行い、他の機器で再生可能かどうかを確認すること。
- (2) ファイル名に「受験するコース、試験科目名、氏名」を記載すること。
- (3) 録画媒体の本体もしくはケースに、「受験するコース、試験科目名、氏名」を記載すること。
- (4) 出願期間内に願書等出願書類と一緒に郵送すること。その際、破損しないように梱包すること。
- (5) 必ずコピーを手元に保管しておくこと。提出された録画媒体は返却しない。
- (6) 録画媒体が再生できない場合には、再提出を求めることがある。その場合は、提出済みの録画媒体のコピーを再提出すること。新たな録画の作成は認めない。

4 オンラインにより実施する試験について

募集要項の「受験上の注意」を読み、各自、インターネット環境を整えておくこと。
事前に接続テストを行うので、参加すること。学校推薦型選抜試験は 2021 年 11 月 14 日（日）、
一般選抜試験は 2022 年 2 月 13 日（日）を予定している。詳細は、出願後に通知する。
試験で使用する ID・パスワード、入室時刻等は、出願後に通知する。

5 備考

出願書類等に不備があった場合には、採点できないことがある。

6 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声楽コース

注意事項：課題曲、自由曲とも暗譜で歌うこと。歌詞は原語で歌うこと（ただし、曲によっては通例歌われている他の外国語で歌うことも可）。

伴奏者は受験者が用意すること。

【録画撮影に関する特記事項】

1. カメラは受験生の正面から全身が映るように撮影する。
2. 伴奏はピアノに限る。
3. ピアニストは映っても映らなくても採点には影響しない。但しピアニストが映る場合は、予め入学試験で使用する旨、ピアニストに撮影の許可を得ること。
4. 課題曲、自由曲の順で通して録画すること。

<課題曲>

下記の課題曲17曲から任意の1曲を選択し、入学願書に記入すること。

<自由曲>

課題曲以外の任意の曲、ただし5分以内とする。歌詞は原語で歌うこと。

<コールユーブンゲン>

コールユーブンゲンはオンラインにより実施する。

F.Wüllner：Chorübungen 全曲の中から、当日1曲を指定する。

固定ド、移動ド、のどちらで歌ってもよい。

課 題 曲

- | | | |
|---|---------------|--------------------------|
| ① | M.A.Cesti | Intorno all'idol mio |
| ② | G.B.Pergolesi | Se tu m'ami |
| ③ | A.Scarlatti | Se tu della mia morte |
| ④ | A.Scarlatti | Già il sole dal Gange |
| ⑤ | G.B.Bononcini | Per la gloria d'adorarvi |
| ⑥ | A.Scarlatti | Sento nel core |
| ⑦ | F.Gasparini | Lasciar d'amarti |
| ⑧ | F.Durante | Vergin, tutto amor |
| ⑨ | W.A.Mozart | Das Veilchen |
| ⑩ | F.Schubert | An die Musik |
| ⑪ | F.Schubert | Frühlingsglaube |
| ⑫ | R.Schumann | Die Lotosblume |
| ⑬ | 弘田龍太郎 | 浜千鳥 |
| ⑭ | 瀧廉太郎 | 荒城の月 |
| ⑮ | 山田耕筰 | かやの木山 |
| ⑯ | 平井康三郎 | ゆりかご |
| ⑰ | 高田三郎 | くちなし |

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

注意事項：課題曲は A,B,C の順に通して暗譜で演奏し、録画すること。

繰り返しは省略する。

【録画撮影に関する特記事項】

録画は、必ず演奏者の横顔、手元、ペダル操作が映るようにすること。

暗譜であることが確認できるようにすること。

使用楽器

グランドピアノ、アップライトいずれも可。

下記の課題曲 A,B,C についてそれぞれ任意の曲を 1 曲選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<課題曲 A>

J.S.Bach：平均律クラヴィア曲集第 1 巻または第 2 巻より任意の 1 曲

(プレリュードとフーガ)

<課題曲 B>

F.Chopin：練習曲 Op.10 または Op.25 より任意の 1 曲 (Op.10-3,Op.10-6,Op.25-7 を除く)

<課題曲 C>

L.v.Beethoven：ピアノ・ソナタ (Op.2-1~Op.90) より任意の第 1 楽章

(Op.27-1,Op.27-2,Op.49-1,Op.49-2,Op.79 の 5 曲を除く)

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

注意事項：すべて暗譜、無伴奏で演奏すること。記号による反復は行わない。

試験曲のうち、指定した版のある曲以外は、どの版を使用しても良い。

【録画撮影に関する特記事項】

1) 演奏の収録順序は以下の通りとする。

① ヴァイオリン、ヴィオラ：〈音階〉⇒〈課題曲 A〉⇒〈課題曲 B〉

② チェロ、コントラバス：〈課題曲 A〉⇒〈課題曲 B〉

2) 暗譜であることが画面上で確認できること。

3) 指定された課題を全て含めること。課題曲 B における伴奏部分を除き、志願者における割愛はしないこと。

4) 録画撮影にあたっては、全ての課題を同一の記録媒体に録画すること。

5) 課題ごと別トラックで録画すること。その際、別トラック (課題) の収録機器・場所等、同一の環境で録画すること。

◆ヴァイオリン

【録画撮影に関する特記事項】

- ・カメラ位置は肩の高さで、左手ならびに演奏時の右手が画面に映るように撮影すること。
また、全身又は上半身(演奏中の左手、右腕を含む)が必ず写っていること。

<音階>

Carl Flesch : Scale system より任意の調一つを選択。

5番 (3オクターヴの音階 Tempo は♩=80~100) 全部。

6番 (3度の音階 Tempo は自由) 冒頭4小節。

7番 (6度の音階 Tempo は自由) 冒頭4小節。

8番 (8度の音階 Tempo は自由) 冒頭4小節。

*フィンガリングは自由。

*スラー、リズムは C-dur に準じること。ただし重音のスラーは一拍ずつのスラーで演奏すること。

<課題曲A>

以下の練習曲、または、これらと同等程度以上の練習曲から任意の1曲を選択。

R.Kreutzer : 42 Etudes (Peters 版)

*No.1,3,5 を除く。リズムやスラーはオリジナルに準じること。

P.Rode : 24 Caprices

J.Dont : 24 Etudes and Caprices Op.35

<課題曲B>

任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章(カデンツァは除く。ただし、作曲者が曲中に著したもののについては演奏すること)。

注. ヴァイオリンを第1志望とする志願者はヴィオラを第2志望とすることができる。

(その場合は、ヴァイオリン用に提出された音源によりヴィオラとしての適性等も含め評価する)

◆ヴィオラ

【録画撮影に関する特記事項】

- ・カメラ位置は肩の高さで、左手ならびに演奏時の右手が画面に映るように撮影すること。
また、全身又は上半身(演奏中の左手、右腕を含む)が必ず写っていること。

<音階>

C-dur の音階。Tempo は♩=80 以上

フィンガリングは自由。ただしボーイングは譜例に従うこと。



< 課題曲 A >

R.Kreutzer : 42 Etudes より任意の 1 曲 (但しヴィオラ用の編曲) を選択。

< 課題曲 B >

任意のヴィオラ協奏曲より第 1 楽章 (カデンツァを除く)

◆チェロ

【録画撮影に関する特記事項】

- 《カメラの向き》横広で撮影する《高さ》カメラは肩の高さで、《場所》ほぼ中央
- ・必要とされる撮影箇所：《向かって左側》弓先での右手、《上》頭、《下》f 字孔

< 課題曲 A >

Sebastian Lee : Melodische und progressive Etüden Opus31 (SCHOTT 版)
40 MELODIC STUDIES Opus31 (INTERNATIONAL 版)
より任意の 1 曲を選択。

< 課題曲 B >

任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章 (カデンツァを除く)

◆コントラバス

【録画撮影に関する特記事項】

- 《カメラの向き》縦長で撮影する《高さ》カメラは肩の高さで 《場所》ほぼ中央
- ・必要とされる撮影箇所《向かって左側》弓先での右手、《上》楽器の頭、《下》 f 字孔

< 課題曲 A >

F.Simandl : 30 Etudes より任意の 1 曲を選択。

< 課題曲 B >

任意のコントラバス協奏曲より第 1 楽章 (カデンツァを除く)

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

注意事項：無伴奏で演奏すること。暗譜でなくてもよい。

【録画撮影に関する特記事項】

- ・音階、課題曲①、課題曲②の順に、全ての課題を通して演奏し、録画すること。
打楽器(A)(B)は、音階、小太鼓 基礎打ち、課題曲①、課題曲②の順とする。
- ・間奏は適宜省略してもかまわない。
- ・カメラアングルについて
管楽器は、全身もしくは上半身が必ず映っていること。
打楽器は、上半身及び手元が必ず映っていること。
譜面台で顔を隠さないようにすること。

【木管楽器】

◆フルート

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

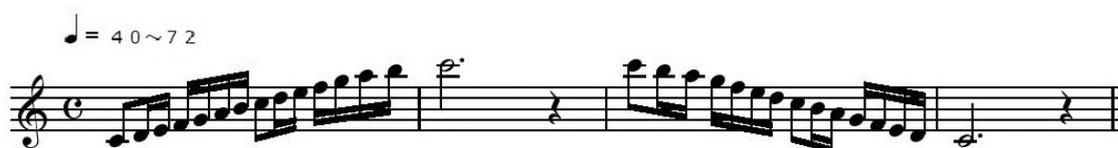
- ① E.Koehler : 35 Exercises op.33 第2巻 (12 Medium Difficult Exercises) より No.12。
(版は自由)
- ② W.A.Mozart : Concerto in D major K314 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆オーボエ

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes op.31 よりNo.1~No.6の中から任意の1曲を選択すること。(版は自由)
- ② J.Haydn : Concerto in C major Hob.VIIg:C1 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆クラリネット

<音階>

R.Eichler : Scales for Clarinet 全長調の1番の中から演奏する。

任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。(国立音楽大学教育出版部)

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① C.Rose : 32 Etudes より No.14,16,18,20,24 の中から任意の1曲を選択すること。(Leduc 版)

② C.M.v.Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-dur op.26 J.109

(Breitkopf & Härtel 版)

◆ファゴット

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① J.Weissenborn : Studies for Bassoon op.8 vol.2 より No.4,6,8,10,13,14 の中から任意の1曲を選択すること。(版は自由、繰り返しなし)

② A.L.Vivaldi : Concerto in la minore F.VIII,7 RV497 より第1楽章 (Ricordi 版)

◆サクソフォーン

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

① F.W.Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones より No.5,11,17 の中から任意の1曲、No.6,12,18 の中から任意の1曲の計2曲を選択すること。(Leduc 版)

② P.Creston : Sonata op.19 より第1楽章

【金管楽器】

(共通課題)

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、タンギングで演奏すること。

譜例



◆ホルン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No. 3,13,15 の中から任意の1曲、No.17,26,28 の中から任意の1曲の計2曲を選択すること。(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur KV 447 より第1楽章
(カデンツァを除く、Breitkopf&Härtel 版)

◆トランペット

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.8,10,12,15,19 の中から任意の1曲を選択すること。
(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② T.Charlier : Solo de Concours (Schott 版)

◆テナートロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.5,6,7,8,9 の中から任意の1曲を選択すること。
(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (版は自由)

◆バス・トロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.6,7,8,9 の中から任意の1曲を選択すること。
(1 オクターヴ下げて演奏する、版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (Reift 版)
※テナー用の原曲を完全4度低く移調したバス・トロンボーン用の編曲で演奏すること。

◆テューバ

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies より No.3,10,14,15,19,20 の中から任意の2曲を選択すること。
(Robert King 版、繰り返しなし)
- ② J.S.Bach : Air and Bourrée (W.J.Bell 編曲 Carl Fischer 版)
※使用楽器は、B♭、C、F管のいずれかとする。

◆打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のどちらかを選択し入学願書に記入して届け出ること。

打楽器 (B) で受験する者は課題曲②の記号と曲名を入学願書に記入すること。

打楽器 (A) 小太鼓

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択すること。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、九つ打ちを演奏する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②を演奏する。

- ① W.F.Ludwig: Collection Drum Solos より 18~19 ページの中から任意の2曲を選択すること。
(Ludwig Music Publishing 版)
- ② A.J.Cirone : Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare drum より No.3,13,19,31 の中から任意の2曲を選択すること。(YMM 版)

打楽器 (B) マリンバ

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択すること。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、九つ打ちを演奏する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲> 次の①、②を演奏する。

① M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes より V、VIII、XII、XV、XX から任意の1曲を選択すること。(Chappell & Co 版)

② J.S. Bach : Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV1001-1006

イ、ロ、ハの中から任意の1曲を選択して演奏する。(版は自由、繰り返しなし)

イ : Sonata I より Fuga Allegro

ロ : Partita I より Tempo di Bourree

ハ : Partita III より Preludio

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<実技試験>

筆記試験…90分

オンラインによる筆記試験を実施する。

- ①受験者は、試験当日、指定された時刻に、オンラインにより入室する。
- ②問題が出題されるので、受験者は解答用紙に手書きで解答を記入する。
- ③試験時間終了後、解答用紙を携帯電話等で写真撮影し、その画像データをメールで送付する。

※試験内容はソプラノ課題およびバス課題を四声体で実施。

※試験で使用するID・パスワード、入室時刻、画像データの送付先は、出願後に大学より通知する。

※解答用紙は、出願後に大学より送付する。

※解答は鉛筆(Bまたは2Bを使用のこと)で記入し、楽譜が鮮明に見える写真を撮影すること。

<口述試験>

オンラインによる口述試験を実施する。

受験者は、試験当日、指定された時刻に、オンラインにより入室する。

※実技試験で実施した課題、出願者自身の作曲または編曲作品の楽譜、音楽への意欲などに関する質疑をオンラインにより実施する。

※提出作品の楽譜(製本せず表紙を含め、無記名)は出願書類と一緒に、提出すること。なお、口述試験の際に、提出した楽譜コピーを手元に用意すること。場合により画面共有することがある。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

次の課題図書に基づいて出題し、論述を求める。

【課題図書】

岡田暁生『音楽の危機 《第九》が歌えなくなった日』（中公新書、2020）

問題は 21 ページを参照すること。

本学所定の解答用紙を使用して、本人自身が手書きで記入のうえ、原本を出願書類と一緒に提出すること。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

※電子書籍は使用しないこと。

<口述試験>

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等をオンラインにより実施する。

※口述試験の際、提出した小論文のコピー、問題、課題図書を手元に用意すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

<小論文>

次の課題図書に基づいて出題し、論述を求める。

【課題図書】

岡田暁生『音楽の危機 《第九》が歌えなくなった日』（中公新書、2020）

問題は 21 ページを参照すること。

本学所定の解答用紙を使用して、本人自身が手書きで記入のうえ、原本を出願書類と一緒に提出すること。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

※電子書籍は使用しないこと。

<口述試験>

小論文の内容及び課題図書に関する質疑等をオンラインにより実施する。

※口述試験の際、提出した小論文のコピー、問題、課題図書を手元に用意すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

注意事項：課題曲、自由曲ともに暗譜で演奏すること。

【録画撮影に関する特記事項】

課題曲、自由曲の音高は、各自で決めて演奏すること。

調弦、課題曲、自由曲の順に通して録画すること。

録画は、全身が映るように撮影すること。

◆歌三線

<調弦>

調子笛の「C」に合わせて本調子と二揚調を調弦すること。

<課題曲>

かぎやで風節、上り口説（1、2、3、8番）、秋の踊【道輪口説】（1、2、3、4番）

※上記3曲の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<自由曲>

二揚調子の古典曲または二揚調子の古典民謡から任意の曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

◆琉球箏曲

<調弦>

調子笛の「C」に合わせて巾、為、斗、十、九、八、七、六、五、四、三、二、一を本調子に調弦すること。

<課題曲>

瀧落菅攪

<自由曲>

歌物の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

注意事項：課題曲、自由曲ともに長着稽古着で演舞すること。

【録画撮影に関する特記事項】

課題曲、自由曲の順に2曲を通して録画すること。

①課題曲、自由曲の音源は各自で用意し、全身が映るように録画すること。

②カメラは、正面から撮影することが望ましい。

<課題曲>

かぎやで風、かせかけ

上記2曲の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<自由曲>

琉球舞踊、又は八重山舞踊の中から任意の1曲を選択し、入学願書に記入して届け出ること。

<初見演技>

今年度は実施しない。

<初見視唱>

オンラインにより実施する。

問題は 22 ページを参照すること。

※問題A・Bより当日指定する。1 分間の予見時間（声を出さずに問題を見る）を与える。唱えの
高さは任意とする。

(10) 社会人選抜（琉球芸能専攻）

<実技検査>

試験曲は一般選抜と同様とする。

<小論文>

問題は 23～26 ページを参照すること。

本学所定の解答用紙を使用して、本人自身が手書きで記入のうえ、原本を出願書類と一緒に提出すること。なお、解答用紙は A3 サイズで印刷の上、使用すること。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

<口述試験>

小論文の内容および音楽・琉球芸能に関する基礎知識についての質疑等をオンラインにより実施する。

※口述試験の際、提出した小論文のコピーと問題を手元に用意すること。

《音楽に関する基礎能力検査》

(1) 楽典

筆記試験…音楽表現専攻・音楽学コース（30分）、沖縄文化コース・琉球芸能専攻（40分）
オンラインによる筆記試験を実施する。

- ①受験者は、試験当日、指定された時刻に、オンラインにより入室する。
- ②問題が出題されるので、受験者は解答用紙に手書きで解答を記入する。
- ③試験時間終了後、解答用紙を携帯電話等で写真撮影し、その画像データをメールで送付する。

※試験で使用する ID・パスワード、入室時刻、画像データの送付先は、出願後に大学より通知する。

※解答用紙は、出願後に大学より送付する。

※解答は鉛筆（B または 2B を使用のこと）で記入し、文字や音符が鮮明に見える写真を撮影すること。

(2) 聴音

単旋律および四声体和声の聴音。

オンラインによる筆記試験を実施する。

- ①受験者は、試験当日、指定された時刻に、オンラインにより入室する。
- ②問題が出題されるので、受験者は解答用紙に手書きで解答を記入する。
- ③試験時間終了後、解答用紙を携帯電話等で写真撮影し、その画像データをメールで送付する。

※試験に使用する ID・パスワード、入室時刻、画像データの送付先は、出願後に大学より通知する。

※解答用紙は、出願後に大学より送付する。

※解答は鉛筆（B または 2B を使用のこと）で記入し、楽譜が鮮明に見える写真を撮影すること。

※楽器のない部屋で受験すること。

(3) 新曲視唱

単旋律の視唱。予見時間は1分30秒。

オンラインにより実施する。

- ①受験者は、試験当日、指定された時刻に、オンラインにより入室する。
- ②問題が出題されるので、受験者はオンラインの接続を切り、視唱の様子を音声付きで録画する。
- ③録画終了後、動画データをメールで送付する。

※試験に使用する ID・パスワード、入室時刻、音声付き録画データの送付先は、出願後に大学より通知する。

※録画データの画質・音質は採点に影響しない。

※楽器のない部屋で受験すること。

(4) 副科ピアノ

注意事項：暗譜で演奏し、録画すること。記号による反復は行わない。

【録画撮影に関する特記事項】

録画は、必ず演奏者の横顔と手元が映るようにすること。全身やペダル操作が見えることが望ましいが、必須ではなく審査にも影響はない。

暗譜であることが確認できるようにすること。

使用楽器

グランドピアノ、アップライト、電子ピアノいずれも可。電子ピアノを使用する場合はピアノの音色に設定し、エコーなどの音響効果はオフにすること。

下記の課題曲①～③の中から1曲を選択し、入学願書に記入して届けること。

音階、課題曲の順で通して演奏し、録画すること。

<音階>

ハノン教則本第39番より下記の調を演奏する。Tempo ♩=80以上。

長調は繰り返しなしで、カデンツをつける。

短調は和声的短音階を1回弾いた後、カデンツをつけずに続けて旋律的短音階を1回弾き、カデンツをつけて終わる。

調：変ホ長調、ハ短調

<課題曲>

① J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の1曲

② ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の1つの楽章
(ベートーヴェンを選択する場合はOp.101～111は除く)ただし緩徐楽章は除く。

③ ツェルニー：30番練習曲 Op.849、40番練習曲 Op.299、50番練習曲 Op.740のいずれかより任意の1曲

(5) 音楽又は舞踊の実技

音楽又は舞踊の実技を録画し提出する。

音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

演奏または演舞時間は、3分～5分程度とし、すべて暗譜で実施すること。

演奏は伴奏なしとする。

演舞は音源を使用してよい。

【録画撮影に関する特記事項】

開始から終了までを通して演奏または演舞し、録画すること。

顔と全身が画面に収まるように撮影すること。

令和4年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験

科目名：小論文 専攻名・コース名：音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース

次の課題図書を読んで、問いに対する答えを解答用紙に記入しなさい。

岡田暁生『音楽の危機 《第九》が歌えなくなった日』（中公新書、2020）

問1 課題図書の各章の中から、あなたが興味を持った章を1つ選び、その概要を説明しなさい（400～600字程度）。

問2 著者の述べる「音楽の危機」に対して、あなたの考えを論じなさい（1600字程度）。

令和四年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験問題
科目名 〈初見視唱〉 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」 問題 A

①若松詞

此宿のうちに
物知られしやべら
旅に行暮れて
行先もないらぬ
御情に一夜
からち給うれ

③若松詞

おやの留守てやり
自由ならぬでいふすに
繰返ちまたや
いひぐれしやあすが
わぬや 中城
若松どやゆる
みやだいらごとあてど
首里にのぼる

②女詞

親の留守なかに
宿からち置て
与所知れてわぬや
浮名立ちゆめ

④小僧(二)詞

あたら花盛り
一人しちならぬ

出典：伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年 榕樹社

*一部、異体字を改め、句読点については省いた。

令和四年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験問題
科目名 〈初見視唱〉 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」 問題 B

①若松詞

露でやんす花に
宿かゆる浮世
慈悲よ御情けに
からちたばうれ

③若松詞

悪縁や袖に
むすばはんばからひ
わ身や首里みやだいら
やてど行きゆる

②女詞

まれの御行合さらめ
あまく片時も
起きれゝ里よ
語らひぼしやの

④小僧(一)詞

尋ねゆる里や
夢やちやうも見だぬ
急ち立戻れ
女わらべ

出典：伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年 榕樹社

*一部、異体字を改め、句読点については省いた。

令和4年度沖縄県立芸術大学音楽学部社会人選抜試験

科目名：小論文

専攻名：琉球芸能専攻

次の文章を読んで、文章に続く問題に答えなさい。

スポーツ・音楽・芸術領域における「わざ言語」の作用の考究においては、まずもってそこで目指されている事柄について考えておく必要がある。以下、これまで筆者が行ったインタビューの中から、スポーツ・音楽・芸術領域で高い評価を得ている優れた指導者による発話をもとに見ていきたい。まずは、技術向上を志向する指導者たちの発話に目を向けてみることにする。

高校生の世代に必要な技術、例えばボールコントロール、パスの精度、両足で蹴れる、多様性、判断力などを身体に染み込ませるように指導します（サッカー指導者）。

知識とか、経験とか、趣味とか、自分の個性とか、そういうものを合わせてこういうものを作ろうとこういう風に弾きたいと思ったときに、自分の手や体、足も全部が言うことをきくように訓練することが必要です（ピアノ指導者）。

ピンがちゃんと立体的に見えて、なおかつ温かみがあつて、飲むと幸せそうに感じる光が注いでいるっていうのがそこにあつたり。センスだけではだめで、技術を知らないと撮れない。このライト、こうたかないとダメだとか、後ろと前の比率、光の強さの比率をこのくらいにしておかないといけないとか、そういうのは職人の世界じゃないと撮れない（カメラマン）。

ただ感性だけでは弾けません。それをどう表現するかということも必要です。音楽をやる人間は表現者でもあるわけです。音で。だから自分の選べるものは数多くもっていた方がいいです。その条件を増やしておくのです。練習で（ヴァイオリン指導者）。

上記の例からも明らかなように、スポーツ・音楽・芸術において目指される事柄の一つとして、勝利・記録・演奏・作品といった結果を導くために必要とされる技能の向上が挙げられる。この技能向上過程は、運動学習の視点からは、当該領域活動に求められるスキルを獲得し改善し発揮するための意図的な試みの過程と捉えられる。このスキルは、例えばスポーツにおいては、「最高の正確さで、またはしばしば最小の時間とエネルギーあるいはこれら両者の消費で、あらかじめ結果を生じるように学習された能力」と定義づけられている。一方、音楽におけるスキルの解釈について、梅本は、音楽演奏（演奏行動）におけるスキルを、「楽

譜に書かれた曲を楽器（声帯・身体も含む）の操作によって具体的な音響として表現する非常に複雑なスキル」であり、そうしたスキル獲得の過程は、「スポーツや演劇などのように限定された時間内に順序よく定められた遂行行動をしなければならない作業に共通した性格」とした上で、準備行動としての読譜、演奏基礎技能、演奏技能、暗譜、表現技能、遂行技能を挙げている。また、この演奏技能は、音響の次元に下がって楽譜から要求される音を出すためのスキルとして、ピッチ、強さ、テンポ、音色のコントロール及び基本パターンの四つに分類している。

こうしたスキルの理解において、求められる動作結果としての熟練技能は、「あらかじめ決められた結果に合わせること」が、「望ましい目標を達成」し、それが再現性という形で「最高の正確さ」を発揮し、コストパフォーマンスの高さという点でエネルギー消費量とパフォーマンス遂行時間が最小化されたものと解釈されている。この熟練技能の追求過程は、(a) 関係した環境の特徴を知覚する知覚過程、(b) 何をすべきか、それをどこで、いつすべきかを決定する意思決定過程、および(c) 運動を発動するために組織化された筋肉活動を行う運動産出・制御過程、の中で示される運動スキルをいかに獲得するか、そのための情報の処理、変換、貯蔵という情報処理過程のモデルによって説明がなされる。そうした熟練パフォーマンスの獲得は、エリクソン等による熟達化理論によって説明されている。エリクソン等は熟達化過程を注意深く組み立てられた練習 (deliberate practice) によって説明する中で、卓越した技能獲得に不可欠な要素として、楽しみとは異なる、パフォーマンス向上のみを目的とする意図的・継続的・反復的な練習を挙げている。エリクソン等によって示された注意深く組み立てられた練習の蓄積による熟達化の枠組みでは、スキルの一種としての音楽演奏技能の自動化過程における指導者の役割が明確に位置づけられている。実際の指導場面で指導者が情報のフィードバックを行う光景は、情報処理モデルに依拠した熟達化を目指すひとつの側面を提示しているかのように見える。

しかし、こうした視点のみでスポーツ・音楽・芸術領域におけるわざの学びを理解することは、人の学びにおいてやりとりされる情報の意味性、あるいは学びそのものの意味性という視点が欠落していると言える。この点について、梅本は、音楽は矛盾にみちた内容をもつものとした上で、「音響であると同時に思想をあらわし、論理的構造をもちつつ感情を動かすものであり、人類に普遍的な面をもちながら、ある社会に特有の内容と形式をもつもの」とし、音楽において共有する情緒性や意味解釈の重要性を指摘している。また梅本は、音楽は「単なる音響のランダムな集合」ではなく、「旋律、リズム、和声それぞれは断片的に継続しているのではなく、もっと長いまとまりとして楽句、楽章をもち、その中では旋律やリズムや和声には意味のある展開が見られる」のであり、さらに「全体として一つの思想や物語、あるいは情景を表現している」がゆえに「音楽は音響であると同時に思想や構造をもつという重層構造を」もっていると説明している。したがって、速く正確なコンピュータによる演奏は、「表現というよりも単なる説明であって、音楽の創造と結びついた生の演奏とは言えない」のであり、逆に「人間による演奏は楽譜に書かれた情報を超えており、そのため

に根強い感心と魅力を獲得している」のである。

同様に一柳は、「感情や感性を極力排除すること」により、正確に楽譜を音にする演奏を求めたセリーに触れ、そこには「音楽の身体性の欠落」あるいは「聴覚性の退行」が見られると指摘している。

では実際の学びの場ではこの点についてどのように捉えられているのだろうか。あるヴァイオリン指導者は、テクニックと技能を区別した上で、音楽を作り上げていく上での世界観や精神的な成長の重要性に触れ、またピアノ指導者は表現の前提としての志向性に触れ、次のように述べている。

促成栽培はいくらでもできる。ただ精神的なものについてはついていけない。気持ちはついていけない。だからそこが問題なのです。ヴァイオリンという楽器の。やはり音楽の世界では、人間として熟練しなければならない(ヴァイオリン指導者)。

水滴がポトポトと落ちるようなタッチのように、本当に美しいものを求める気持ちがあつて初めて、腕や背中の運動能力が開発されていく。だからその前に求める気持ちがないとダメ(ピアノ指導者)。

また、あるヘアデザイナーは、美容の世界における人を意識した美容のわざのあり方に触れて次のように述べている。

美容も技術、技術というけれど、僕等の世界は、カットが何ミリ違つたという世界ではないと思うのです。お客さんが認めてくれる、ああこの人じょうずだなんて。結局、彫刻家ではないから、お客さんという、生きたものの上につくっているわけです。発想したり、そのお客さんのことを考えて似合うようにつくつてあげたり、いろいろ聞き出してこんなのは嫌だろうな、それじゃこういうふうにしてあげようかと。やはり心の部分がつくる世界です。美容の世界は。アーティストじゃなければいけないとも思うし、そればかりでもないという部分もあります(ヘアデザイナー)。

フィギュアスケートの指導者は、選手の演技に込められるわざの関係性、表現性の重要性に触れ次のように述べている。

フィギュアスケートは美しさを競う競技。本当の美しい演技には選手の人間性全体が滲み出てきます。巧みな動作や高度な技術で表現しつくそうとする美しさは演技の表面的な一部分であつて、それだけではこまかせない。もっと本質的な部分、例えば選手の人間性、価値観、観客と共有する心の部分、そういったところに共鳴できる美しさを表現できなければだめなのです(フィギュアスケート指導者)。

こうした人が教える場における情報の意味性を視野に入れた身体技能の解釈として、生田は、「単なる身体技術あるいは身体技能の習得および教授を超えた」、形で存在する「まとまりのある身体活動において目指すべき『対象』全体を指し示す「わざ」という概念を提示している。そこでは人の学びが、「学習者自らが『わざ』の世界に身を置く——世界への潜入——ことにより、『わざ』の技術的習得のみならず『わざ』の世界全体の意味連関を身体全体でつくりあげていく過程」として捉え直されている。

ここで、人の学びという視点からスキルとわざを比較した場合、スキル獲得が合理的効率的な情報処理機能の定着・自動化を目指すのに対し、わざの学びはそうしたプロセス自体の意味の解釈を伴いながら目指す状態に至ることが志向されると理解できよう。換言すれば、スキル獲得過程とわざ習得過程の違いは、スキル獲得過程は、動作遂行者が効果的に目標を達成するために、(1) 関係した環境の特徴を知覚し、(2) 何をすべきか、それをどこでいつすべきかを決定し、(3) 運動を発動するために、組織化された筋肉活動を行う、という三つの要素について効率的な熟達化を進めるものであるのに対し、わざの学びは、学びの世界に身を置くことによって動作全体を状況の中に意味づけ価値つけていく営みであり、結果として求める動きが導かれていく状態を志向するもの、と解釈することができる。

北村勝朗「熟達化の視点から捉える「わざ言語」の作用——アロー体験に至る感覚の共有を通じた学び」(生田久美子・北村勝朗(編著)『わざ言語——感覚の共有を通しての「学び」へ』慶應義塾大学出版会、二〇一一年、三五～四〇頁)

※文中にある参考文献は省略した。

問一 スポーツ・音楽・芸術領域において目指されている事柄とはなにか。課題文を参考に、四〇〇字以内で説明しなさい。

問二 あなたが専門とする音楽・芸能におけるスキルの獲得と「わざ」の習得について、具体例を挙げながら八〇〇字以内で述べなさい。

<学校推薦型選抜>

II 学校推薦型選抜

1 試験科目一覧

試験科目 専攻・ コース名		専攻試験					音楽に関する基礎能力検査					面接
		実技 検査	コールユー ブソング ン	初見 視唱	小論文	口述 試験	楽典 (注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	音楽又 は舞踊 の実技 (注3)	
音楽 表現	声楽	◎	◎				◎			◎		◎
	ピアノ	◎					◎					◎
	弦楽	◎					◎			◎		◎
	管打楽	◎					◎			◎		◎
	作曲理論	◎				◎	◎			◎		◎
音楽 文化	沖縄文化				◎	◎	◎				◎	◎
	音楽学				◎	◎				◎		◎
琉球 芸能	琉球古典音楽	◎					◎					◎
	琉球舞踊組踊	◎		◎			◎					◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器 (A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

*音楽学コースでは、令和5年度入試から、音楽に関する基礎能力検査において、副科ピアノに加え、楽典を課し、聴音と新曲視唱のいずれか一つの科目を選択する。

2 各科目の実施方法

実技検査 副科ピアノ 音楽又は舞踊の実技

録画媒体(DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか)の提出により実施する。

指定する方法で課題の演奏録画を提出すること。なお、演奏環境、画質等は審査に影響しない。

注意事項は、各コース、科目欄の記載に従うこと。

小論文 作品

課題の提出により実施する。

口述試験 面接 初見視唱

オンラインにより実施する。

楽典

オンラインにより実施する。

コールユーブンゲン

オンラインによる演奏審査にて実施する。

初見演技 聴音 新曲視唱

今年度は実施しない。

3 録画媒体の作成および提出について

【録画媒体、形式について】

- (1) 録画媒体は、以下のいずれかとする。
DVD USB メモリ SD カード(含 microSD カード)
- (2) USB メモリ、SD カードのフォーマット形式は以下のいずれかとする。
NTFS FAT32 exFAT
- (3) 動画ファイル形式は、以下の形式とする。
MOV MP4 AVI WMV MPG
- (4) 試験科目ごとに別の録画媒体に録画すること。

【録画について】

- (1) 本人確認のため、録画の初めに顔を映すこと。その際、名前等は言わないこと。
- (2) 各コース専攻試験並びに、各試験科目の注意事項や【録画撮影に関する特記事項】をよく読んで、指定に従うこと。
- (3) すべての課題を通して録画し、録画中は中断しないこと。ただし、弦楽コース専攻試験については、当該試験の【録画撮影に関する特記事項】の指定に従うこと。
- (4) カメラの位置は固定し、ズーム等は行わないこと。
- (5) 一切の編集、加工を行わないこと。映像と音声不一致している場合や、映像や音声を加工したと判断した場合には失格となる可能性がある。
- (6) 演奏環境、画質等は評価に影響しない。ただし、録画の状態が極端に不良である場合（音声や映像の歪みや途切れ等）、または各コース専攻試験や科目の指定に準じていない場合には、採点できないことがある。

【提出について】

- (1) DVD を提出する場合は、提出前にファイナライズ処理を必ず行い、他の機器で再生可能かどうかを確認すること。
- (2) ファイル名に「受験するコース、試験科目名、氏名」を記載すること。
- (3) 録画媒体の本体もしくはケースに、「受験するコース、試験科目名、氏名」を記載すること。
- (4) 出願期間内に願書等出願書類と一緒に郵送すること。その際、破損しないように梱包すること。
- (5) 必ずコピーを手元に保管しておくこと。提出された録画媒体は返却しない。
- (6) 録画媒体が再生できない場合には、再提出を求めることがある。その場合は、提出済みの録画媒体のコピーを再提出すること。新たな録画の作成は認めない。

4 オンラインにより実施する試験について

募集要項の「受験上の注意」を読み、各自、インターネット環境を整えておくこと。

事前に接続テストを行うので、参加すること。学校推薦型選抜試験は2021年11月14日（日）、一般選抜試験は2022年2月13日（日）を予定している。詳細は、出願後に通知する。

試験で使用するID・パスワード、入室時刻等は、出願後に通知する。

5 備考

出願書類等に不備があった場合には、採点できないことがある。

6 試験内容および試験曲等

《専攻試験》

(1) 音楽表現専攻声楽コース

一般選抜に同じ

(2) 音楽表現専攻ピアノコース

一般選抜に同じ

(3) 音楽表現専攻弦楽コース

一般選抜に同じ

(4) 音楽表現専攻管打楽コース

注意事項：無伴奏で演奏すること。暗譜でなくてもよい。

【録画撮影に関する特記事項】

- ・音階、課題曲①、課題曲②の順に、全ての課題を通して演奏し、録画すること。
打楽器(A)(B)は、音階、小太鼓 基礎打ち、課題曲①、課題曲②の順とする。
- ・間奏は適宜省略してもかまわない。
- ・カメラアングルについて
管楽器は、全身もしくは上半身が必ず映っていること。
打楽器は、上半身及び手元が必ず映っていること。
譜面台で顔を隠さないようにすること。

【木管楽器】

◆フルート

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① E.Koehler : 35 Exercises op.33 第2巻 (12 Medium Difficult Exercises) より No. 10。
(版は自由)

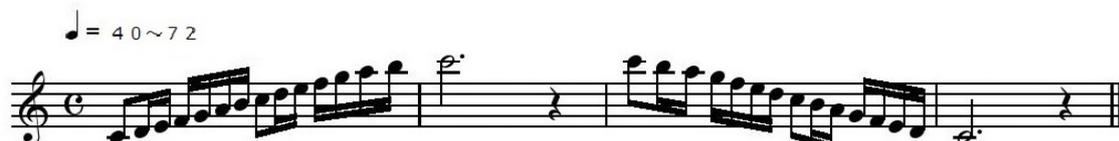
② W.A.Mozart : Concerto in D major K314 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆オーボエ

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes op.31 よりNo.1~No.6の中から任意の1曲を選択すること。(版は自由)
- ② J.Haydn : Concerto in C major Hob.VIIg:C1 より第1楽章 (カデンツァを除く、版は自由)

◆クラリネット

<音階>

R.Eichler : Scales for Clarinet 全長調の1番の中から演奏する。

任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。(国立音楽大学教育出版部)

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Rose : 32 Etudes より No.13,15,17,19,21,23の中から任意の1曲を選択すること。(Leduc 版)
- ② C.M.v.Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-dur op.26 J.109
(Breitkopf & Härtel 版)

◆ファゴット

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① J.Weissenborn : Studies for Bassoon op.8 vol.2 よりNo.4,6,8,10,13,14の中から任意の1曲を選択すること。(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.L.Vivaldi : Concerto in la minore F.VIII,7 RV497 より第1楽章 (Ricordi 版)

◆サクソフォーン

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、スラーで演奏すること。

譜例



<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① F.W.Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones より No.5,11,17 の中から任意の1曲、
No.6,12,18 の中から任意の1曲の計2曲を選択すること。(Leduc 版)
- ② P.Creston : Sonata op.19 より第1楽章

【金管楽器】

(共通課題)

<音階>

全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を1つ選択し、タンギングで演奏すること。

譜例



◆ホルン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No. 3,13,15 の中から任意の1曲、No.17,26,28 の中から
任意の1曲の計2曲を選択すること。(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur KV 447 より第1楽章
(カデンツァを除く、Breitkopf&Härtel 版)

◆トランペット

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.8,10,12,15,19 の中から任意の 1 曲を選択すること。
(Carl Fischer 版、繰り返しなし)
- ② T.Charlier : Solo de Concours (Schott 版)

◆テナートロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.5,6,7,8,9 の中から任意の 1 曲を選択すること。
(版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (版は自由)

◆バストロンボーン

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies Book1 より No.6,7,8,9 の中から任意の 1 曲を選択すること。
(1 オクターヴ下げて演奏する、版は自由、繰り返しなし)
- ② A.Guilmant : Morceau Symphonique op.88 (Reift 版)
※テナー用の原曲を完全 4 度低く移調したバス・トロンボーン用の編曲で演奏すること。

◆チューバ

<音階>

金管楽器共通課題参照のこと

<課題曲>

次の①、②を演奏する。

- ① C.Kopprasch : 60 Studies より No.3,10,14,15,19,20 の中から任意の 2 曲を選択すること。
(Robert King 版、繰り返しなし)
- ② J.S.Bach : Air and Bourrée (W.J.Bell 編曲 Carl Fischer 版)
※使用楽器は、B♭、C、F 管のいずれかとする。

◆打楽器

打楽器 (A)、打楽器 (B) のどちらかを選択し入学願書に記入して届け出ること。

打楽器 (B) で受験する者は課題曲②の記号と曲名を入学願書に記入すること。

打楽器 (A) 小太鼓

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を 1 つ選択すること。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、九つ打ちを演奏する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲>次の①、②を演奏する。

- ① W.F.Ludwig : Collection Drum Solos より 18~19 ページの中から任意の 2 曲を選択すること。
(Ludwig Music Publishing 版)
- ② A.J.Cirone : Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare drum より No.3,13,19,31 の中から任意の 2 曲を選択すること。(YMM 版)

打楽器 (B) マリンバ

<音階>

マリンバで、全長調の音階の中から譜例に従い演奏する。任意の調を 1 つ選択すること。

譜例



<小太鼓 基礎打ち>

二つ打ち、九つ打ちを演奏する。

奏法は任意とする。(小太鼓を使用して演奏、響き線無し)

<課題曲>次の①、②を演奏する。

- ① M.Goldenberg : Modern School for Xylophone,Marimba,Vibraphone 39 Etudes より VI、IX、XIII、XIVから任意の 1 曲を選択すること。(Chappell & Co 版)
- ② J.S.Bach : Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV1001-1006
イ、ロ、ハの中から任意の 1 曲を選択して演奏する。(版は自由、繰り返しなし)
イ : Sonata I より Fuga Allegro
ロ : Partita I より Tempo di Bourree
ハ : Partita III より Preludio

(5) 音楽表現専攻作曲理論コース

<口述試験>

オンラインによる口述試験を実施する。

受験者は、試験当日、指定された時刻に、オンラインにより入室する。

※出願者自身の作曲または編曲作品の楽譜、音楽への意欲などに関する質疑をオンラインにより実施する。

※提出作品の楽譜（製本せず表紙を含め、無記名）は出願書類と一緒に、提出すること。なお、口述試験の際に、提出した楽譜コピーを手元に用意すること。場合により画面共有することがある。

※試験で使用する ID・パスワード、入室時刻、画像データの送付先は、出願後に大学より通知する。

(6) 音楽文化専攻沖縄文化コース

<小論文>

テーマ「現代の社会と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、原本を出願書類と一緒に提出すること。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

<口述試験>

小論文の内容に関する質疑等をオンラインにより実施する。

※提出した小論文のコピーを手元に用意すること。

(7) 音楽文化専攻音楽学コース

<小論文>

テーマ「現代の社会と音楽（舞踊）との関わりについて論じなさい」

原稿用紙（400字詰め）5枚程度とし、手書きであること。

※小論文は、原本を出願書類と一緒に提出すること。

※提出した小論文のコピーを必ず取っておくこと。

<口述試験>

小論文の内容に関する質疑等をオンラインにより実施する。

※提出した小論文のコピーを手元に用意すること。

(8) 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース

一般選抜に同じ

(9) 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース

一般選抜に同じ

《音楽に関する基礎能力検査》

(1) 楽典

筆記試験…音楽表現専攻・音楽学コース（30分）、沖縄文化コース・琉球芸能専攻（40分）
オンラインによる筆記試験を実施する。

- ①受験者は、試験当日、指定された時刻に、オンラインにより入室する。
- ②問題が出題されるので、受験者は解答用紙に手書きで解答を記入する。
- ③試験時間終了後、解答用紙を携帯電話等で写真撮影し、その画像データをメールで送付する。

※試験で使用する ID・パスワード、入室時刻、画像データの送付先は、出願後に大学より通知する。

※解答用紙は、出願後に大学より送付する。

※解答は鉛筆（B または 2B を使用のこと）で記入し、文字や音符が鮮明に見える写真を撮影すること。

(2) 聴音

今年度は実施しない。

(3) 新曲視唱

今年度は実施しない。

(4) 副科ピアノ

注意事項：暗譜で演奏し、録画すること。記号による反復は行わない。

【録画撮影に関する特記事項】

一般選抜に同じ

下記①～③の中から 1 曲を選択し、入学願書に記入して届けること。

<課題曲>

- ① J.S.バッハ：インヴェンションまたはシンフォニアより任意の 1 曲
- ② ハイドン、モーツァルトまたはベートーヴェン：ピアノソナタより任意の 1 つの楽章
（ベートーヴェンを選択する場合は Op.101～111 は除く）ただし緩徐楽章は除く。
- ③ ツェルニー：30 番練習曲 Op.849、40 番練習曲 Op.299、50 番練習曲 Op.740 のいずれかより任意の 1 曲

(5) 音楽又は舞踊の実技

一般選抜に同じ

<入試問題例・解答例>

Ⅲ 入試問題例・解答例

《試験科目 目次》

* 一般入試		問題	解答
楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）	・・・・・・・・	39	40
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）	・・・・・・・・	41	42
楽典（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学コース）（※注1）	・・・・・・・・	43	44
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）（※注1）	・・・・・・・・	45	46
聴音	・・・・・・・・	47	—
新曲視唱	・・・・・・・・	48	—
作曲実技	・・・・・・・・	49	—
小論文（音楽文化専攻）	・・・・・・・・	50	51
小論文（琉球芸能専攻社会人選抜）	・・・・・・・・	52	—
初見視唱	・・・・・・・・	56	—
 * 推薦入試		問題	解答
楽典（音楽表現専攻（※注2））	・・・・・・・・	57	58
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）	・・・・・・・・	59	60
楽典（音楽表現専攻（※注2））（※注1）	・・・・・・・・	61	62
楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）（※注1）	・・・・・・・・	63	64
聴音	・・・・・・・・	65	—
新曲視唱	・・・・・・・・	66	—
初見視唱	・・・・・・・・	67	—
小論文（音楽文化専攻）	・・・・・・・・	—	68

※注1：令和3年度入試では、楽典を口述試験として実施した

※注2：作曲理論コースを除く

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名：楽典 専攻名・コース名：音楽表現専攻・音楽学コース

Allegro non troppo (♩ = 116)

I 右の楽譜は、チャイコフスキー作曲《交響曲第6番》からの抜粋です。以下の設問に答えなさい。

1. 1) 2段目までの調をドイツ語で答えなさい。
- 2) 上記の調の音階を書きなさい。(短調の場合、旋律短音階で書くこと)
2. 冒頭の速度標語の意味を答えなさい。
3. 冒頭4小節の旋律はViolaによって演奏されます。アルト譜表に書き直しなさい。
4. A ~ F の和音の種類を以下から選択して、記号で答えなさい。
 (ア)長三和音 (イ)短三和音 (ウ)増三和音 (エ)減三和音
 (オ)属七の和音 (カ)減七の和音 (キ)短七の和音
 (ク)長七の和音 (ク)減七の和音 (ケ)短七の和音
 5. ① ~ ⑨ の音程を例に倣って答えなさい。(複音程は単音程に直すこと)
6. 1) 部分Xを支配する調をドイツ語で答えなさい。
- 2) 部分Xの調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書き、和音記号も下に書きなさい。

7. 冒頭*印から最後にある*印までを♩ = 116のテンポで演奏した時の計算式と所要時間を答えなさい。
 い。(ただし、演奏によるテンポの変化は無いものとする)

II. 次の楽語の意味を答えなさい。

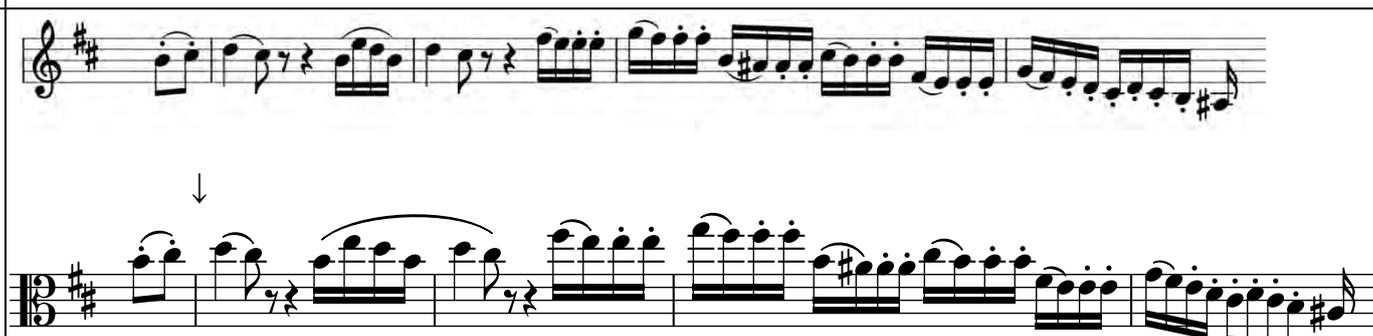
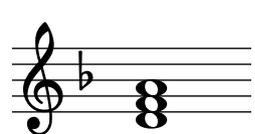
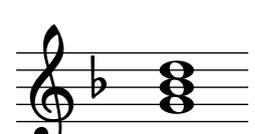
- 1) pesante 2) L'istesso tempo 3) con fuoco 4) giocoso 5) ritmico

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般入学試験

科目名： 楽 典 (解答用紙)

受験番号

I

1.	1) h-moll	2)				
2.	Allegro non troppo = あまり速すぎず					
3.						
4.	A ア	B カ	C イ	D エ	E カ	F ア
5.	例 長2度	① 完全5度	② 短6度	③ 長3度	④ 完全4度	
	⑤ 増2度	⑥ 長2度	⑦ 増4度	⑧ 短2度	⑨ 完全5度	
6.	1) d-moll					
	2) 主和音		下屬和音		属和音	
						
	和音記号 (I)		(IV)		(V)	
7.	計算式 $(14 \times 4 + 2) \times 60 \div 116 = 30$			所要時間 30 秒		

II

1) pesante	重々しく
2) L'istesso tempo	同じ速さで
3) con fuoco	熱情をもって、熱烈に
4) giocoso	おどけて、楽しく、陽気な
5) ritmico	リズムを正確に

科目名：楽典 専攻名・コース名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1. 次の楽譜は、團伊玖磨作曲《花の街》の旋律である。次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

- (1) この曲は、何拍子か。次の中から選びなさい。
8分の2拍子 4分の2拍子 4分の3拍子 8分の6拍子 4分の4拍子
- (2) この曲は、何調か。次の中から選びなさい。
変ロ長調 へ短調 ト長調 二短調 へ長調
- (3) あ、い、う の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例のように答えなさい。
- (4) か、き、く の記号の名前と意味を答えなさい。
- (5) この曲を $J=80$ の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)
- (6) この楽譜の3段目(12小節目から17小節目まで)を全音低い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2. 次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

- (1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
ア ト長調 イ ロ短調 (和声的短音階)
- (2) 解答用紙の五線に、次のコードネームが示す和音を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
ア Am イ G ウ C7 エ D オ Cm

3. 次の(1)～(9)の問いの中から、5つだけを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号5つを解答用紙の()に書くこと。

- (1) ハ長調の平行調は何調か。
- (2) *rit.* を省略せずにアルファベットで書き、読みと意味を答えなさい。
- (3) 次の中から、4分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。
ア 付点4分音符+8分音符 イ 2分音符+8分音符
ウ 全音符+16分音符 エ 16分音符+付点8分音符
- (4) 次の中から、反復記号を一つ選んで答えなさい。
D.C. Andante a tempo legato decrescendo
- (5) 次の中から、沖縄の伝統芸能を一つ選んで答えなさい。
歌舞伎 京劇 組踊 雅楽 文楽
- (6) 三線の二揚調子において、中絃をG(ト音)とすると、女絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。
- (7) 三線の本調子において、男絃と中絃の音程は何度か。1(3)の例のように答えなさい。
- (8) 次の中から、琉球等曲の器楽曲の曲名を一つ選んで答えなさい。
かざやで風節 執心鐘入 上り口説 御座楽 六段音階
- (9) 女踊り「伊野波節」で用いられる曲名(節名)をすべて答えなさい。

科目名：楽典（解答用紙）

受験番号

1.

(1) 4分の2拍子 _____ (2) へ長調 _____

(3) 【例】 短7度 _____

あ 完全5度 _____ い 短2度 _____ う 長2度 _____

(4) か 名前 モザラート _____ 意味 中ぐらいの速さで _____

き 名前 クレシエンド _____ 意味 だんだん強く _____

く 名前 メツソ・ピアノ _____ 意味 少し弱く _____

(5)

計算式

$$60 \div 80 \times 2 \times 22 = 33$$

_____ 33 _____ 秒

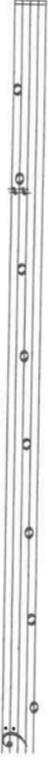
(6)



(演奏上の記号等は無くてもよい)

2.

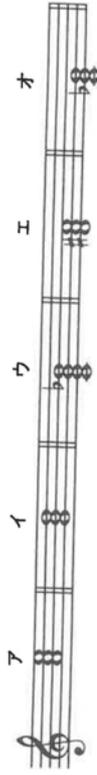
(1) ア



イ



(2)



3.

(1) イ短調 _____

(2) *ritardando* リタルダント だんだん遅く _____

(3) エ _____

(4) *D.C.* _____

(5) 組踊 _____

(6) C (ハ音) _____

(7) 完全4度 _____

(8) 六段書置 _____

(9) 伊野波節、恩納節、長恩納節 _____

試験科目：楽典（音楽表現専攻・音楽文化専攻音楽学コース）

楽譜は、I.ハイドン作曲《弦楽四重奏曲 作品33-3》第IV楽章の一部(72～112小節目まで)を大譜表に書き換えたものです。この楽譜をもとに出題される自述での設問に対し、制限時間内に自述で解答しなさい。

Quartetto Op. 33, No. 3

Rondo
Presto (♩ = 120 - 132)

J. Haydn

令和3年度一般選抜「楽典」口述試験

設問

- ①6 段目を見て下さい。
6 段目 1 小節目、第 1 拍の音を下から順にドイツ音名で読みなさい。
- ②その和音の種類を答えなさい。
- ③5 段目、6 段目を見て下さい。
5 段目 2 小節目から 6 段目最後の小節にかけて、何調から何調に転調しているか答えなさい。
- ④同じく、5 段目、6 段目を見て下さい。
5 段目 2 小節目から 6 段目の最後の小節までの高音部主旋律を、この曲にふさわしいテンポで音程を付けずに、ド・レ・ミ…で唱えなさい。

令和3年度沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験

科目名：楽典（音楽表現専攻・音楽文化専攻音楽学コース）解答用紙

受験番号	
------	--

【重要】 楽典の受験者は、この解答用紙と大学ホームページからダウンロードした楽譜を手元に用意して、受験してください。当日、手元に用意していない場合には、試験を実施することができませんので、注意してください。

【注意事項】

- ・参考資料やノートやメモは、口述試験の時間中、見てはいけません。自分から見えない所に置き、口述試験の画面以外のウィンドウはすべて閉じてください。
- ・手元には、ダウンロードした楽譜、解答用紙、筆記用具のみを用意してください。
- ・ダウンロードした楽譜と解答用紙は、書き込みのないものを使ってください。
- ・口述試験が始まったら、楽器や声などで音を出してはいけません。

【解答】

① C, Es, As, As

② 長三和音

③ g-mollからEs-durに転調

④（書かずに口述で解答）

「唱え」という設問のため、解答例掲載なし

以下の楽譜は、《仰りば喜し》の旋律です。この楽譜をもとに試験当日出題される口述での設問に対し、制限時間内に口述で解答しなさい。

令和3年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験

- ① この曲の拍子を答えなさい。
- ② 1段目の最初の音の下に書かれた強弱記号の読みと意味を答えなさい。
- ③ 2段目の1小節目の2番目の音と3番目の音の音程は、長2度です。では、同じ2段目の3小節目の3番目の音と4番目の音の音程を答えなさい。
- ④ 2段目の旋律を、速度表示にしたがい、正しいリズムで、音程を付けずにドレミ…で唱えなさい。

令和3年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験

科目名：楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）解答用紙

受験番号	
------	--

【重要】 楽典の受験者は、この解答用紙と大学ホームページからダウンロードした楽譜を手元に用意して、受験してください。当日、手元に用意していない場合には、試験を実施することができませんので、注意してください。

【注意事項】

- ・参考資料やノートやメモは、口述試験の時間中、見てはいけません。自分から見えない所に置き、口述試験の画面以外のウィンドウはすべて閉じてください。
- ・手元には、ダウンロードした楽譜、解答用紙、筆記用具のみを用意してください。
- ・ダウンロードした楽譜と解答用紙は、書き込みのないものを使ってください。
- ・口述試験が始まったら、楽器や声などで音を出してはいけません。

【解答】

①

8分の6拍子

②

メゾ・ピアノ

少し弱く

③

短6度

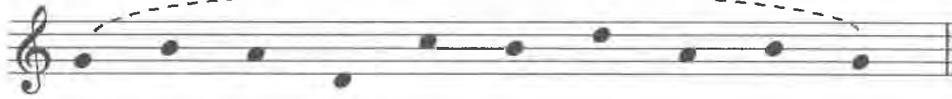
④（書かずに口述で解答）

「唱え」という設問のため、解答例掲載なし

科目名： 新曲視唱

専攻・コース名： 声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース

1. 次のフレーズを**音程を付けずに**素早くド・レ・ミ…で読みなさい。



2. 次の旋律の**調の主和音**と**曲の開始音**をピアノで弾いてから予見しなさい。（制限時間：1分30秒）

3. 予見し終わったら、再び**主和音**と**曲の開始音**をピアノで弾き確かめてから歌いなさい。



令和3年度沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜

科目名：小論文 専攻・コース名：音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース

次の課題図書を読んで、問いに対する答えを解答用紙に記入しなさい。

若尾 裕 『サステナブル・ミュージック これからの持続可能な音楽のあり方』
(アルテスパブリッシング、2017)

問1 あなたが興味を持った部分3カ所について、ページ番号を添えて書き出し、それぞれの理由を説明しなさい(合計で600字程度)。

問2 課題図書全体を通しての著者の考え方に対して、あなたの考えを論じなさい(1200～1600字程度)。

小論文（音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース）

1. 出題の意図

課題図書は、音楽の「近代」をめぐる状況についてのエッセイである。出題は、興味を持った部分や著者の考え方について説明させ、受験者の考えを述べさせることにより、受験者が課題図書の内容をどのように理解し、どのように考えたか、またその考えをどのように他者に対して的確に伝えることができるかを問うものである。

2. 評価の観点

- ・ 課題図書に対する理解
- ・ 音楽や舞踊に対する知識・理解、関心・問題意識
- ・ 論理性、思考力
- ・ 独創性、発想力
- ・ 文章構成力・表現力（誤字脱字や文章の技術等も含む）

次の文章を読んで、文章に続く問題に答えなさい。

第七 別紙口伝

この口伝において、能における花とは何か、仮に自然の花が咲く姿をみて、萬のものを花にたとえはじめた理をわきまえるべきである。

そもそも花というもの、万木千草四季折々に咲くものであって、その時を得た珍しさゆえに愛でられるのである。申樂においても人の心に珍しいと感じられる時、それがすなわち面白いという心なのだ。花、面白い、珍しい。これらは三つの同じ心である。いずれの花でも散らずに残る花などあろうか。花は散り、また咲く時があるゆえ珍しいのだ。能も一所に常住せぬところを、まず花と知るべきだ。一所にとどまらず他の姿に移り行くことが珍しいのだ。

ただし留意すべき点がある。いくら珍しいといっても、この世にないものを演じあらかわすわけではない。花伝で示した各草をことごとく稽古し終わり、さて申樂を始めようとするときに、その物数を用々に従って取り出すのだ。花の場合も萬の草木において、四季折々の時の花以外に珍しいと感じるものがあるだろうか。そのように習い覚えた品々を究め尽くせば、その時々世相を心得、その時々人の好みに従って芸を取り出す。これは季節の花が咲くのを見るがごときである。花といつても去年咲いた花の種から咲いたもの。能も以前見た芸であっても、物数を究めればその数を尽くすまで久しくかかる。久しぶりに見れば、また珍しいものである。

その上人の好みも色々で、音曲・振舞い、物真似も、所々で変わりとりどりであれば、いずれの芸をもやり残してはならない。たとえば、物数を究めつくしたシテは初春の梅に始まり、晩秋の菊が咲き終えるまで、一年中の花の種をみな持っているようなものである。いずれの花であろうとも人の望み、時節に応じて取り出すべきである。物数を究めていなければ、時により花を失うことがある。たとえば春の花の盛りが過ぎ、夏草の花を觀賞したいという頃合い。春の花の芸のみを得たシテが、夏草の花もなく過ぎし春の花をまた持ち出しても、それを時の花といえるだろうか。

これにて悟るべきである。ただ花は見る人の心に珍しいゆえ花なのだ。すなわち第二問答條々、花の段に「物数を究め工夫をつくして後、花の失せない所を知るだろう」と書いたのが、この口伝

の本旨である。つまり花とは特別にある何かではない。物数を尽くし工夫を得て、珍しさを心得ることが花である。「花は心、種は技」と書いたのも、これゆえである。

物真似の鬼の段に「鬼のみをよくする者は、鬼の面白い所をも知るまい」といったのも、物数を尽くした後、意外にも鬼を出したことで、珍しさが花となって面白いのである。他の芸がなく鬼のみの上手だ、と思ってみれば芸はさすがと感じられても珍しい心がないので見所に花はない。「厳に花の咲く如し」ともいったが、鬼の芸はそもそも強く恐ろしく肝をつぶすように演じなければ鬼には見えない。これを厳といったのだ。花というのは他の芸をすべてやり尽くし、幽玄至極の上手だ、と人が思い馴れたところへ思いも寄らず鬼を出す。観客は珍しさゆえ面白く感じる。これが花である。それゆえ鬼のみ演じるシテは、厳ばかりで花はないといったのだ。

技巧についての口伝。音曲・舞・働き・振り・風情などについても前段と同じ心得がある。いつもと同じ演出と音曲なので、ここはこういう風にやるはずだと人が思い込んでいる場面を、そこには住せず、心中に同じ振りではありながら、いつもよりは軽がると芸を嗜む。音曲も同じものではありながら、なお工夫を廻らせ曲を彩り、声調を嗜み、われながら今ほど気の入ったことはないという程大事に演じるのだ。これを見、聞いた人にいつもと違い面白かったと評価されるだろう。これは見聞きした人の心に珍しいと感じさせたからに違いない。

(中略)

一、能においては、十体(あらゆる芸種)を心得るべきである。十体を体得したシテは同じ芸を一回り一回りずつ演じたとしても、その一通りの間が久しいゆえ観客はまた珍しく思うものだ。十体を得た人が、その中に故実・工夫を加えることで芸は百色にも亘るだろう。三年、五年に一度くらい同じ曲をやる場合には、珍しく見せる替えの手を計画すべきである。これは大きな安心となる。

または一年の中でも四季折々に十体との取り合わせを考慮する。日数を重ねた申楽では、一日の中はいうにおよばず、一曲の中でも芸の品々を彩って見せるべきである。このように大きな計画より、ささいな見せ方にいたるまで、自然に心づくようになれば一生花は失せないものである。

さらに、十体より大事なことは、年々去来の花を忘れぬことだ。たとえば十体とは物真似の品々のことだが、年々去来とは幼い頃の容姿、初心の時の技、油の乗った時分の演技、老年のたたずまいなど、その時代時代に自然と身についた芸をすべて今、一度に持つことである。ある時は少年や若者の能に見え、ある時は全盛のシテかと思ひ、またある時には、いかにも臆たけて年季の入ったように、同じ役者とは思えないような能をすべきである。これすなわち幼少時より老後までの芸を

一度にもつ理である。それで年々、去つてはまた来る花とはいったのだ。

ただし、この位に至つたシテは、今にも昔にも見聞きしたことがない。亡父觀阿弥、若い盛りの能では、臆たけた芸がことのほか得意であつたなどと聞いているのだが。四十過ぎの能は見慣れているので間違いない。自然居士じねんこじの物真似に、舞台の演技をご覧になつた時の將軍より十六、七の役者に見えたなどとお褒めいただいたものだ。これはまさしく人も申し、自身も見たことなので、この位に相応している達人だと思つたことである。このように若い時分には行く末の年々去來の芸を得、年とつてからは過ぎしかたの芸を身に残すシテ。これまで一人と見たことも聞いたこともないものだ。されば初心よりこのかたの芸能の品々を忘れず、その時々、用々に従つて取り出すべし。若くして年寄りの風情、年とつてなお盛りの芸を残すこと。珍しくないはずがあらうか。

されば芸の位が上がつたといつて、過ぎし芸風をやり捨てやり捨てしては忘れてしまうこと。ひたすら花の種を失ひ続けることとなる。その時々咲く花ばかりで種がなければ、手折られた枝の花のようなもの。種がありさえすれば、年々時々折に、なぜまたその花に逢えないことなどあらうか。ただかえすがえすも、初心忘るべからず。されば常の批評にも、若いシテに「はや完成した」「年季が入っている」などと褒め、老シテには「若やいでいた」などというのである。これを珍しさの理ではあるまいか。十体をそれぞれ彩れば百色にも及ぶ。さらにその上、年々去來の品々を今一身に持てたとしたら、どれほどの花になることであらうか。

(中略)

一、因果の花を知ること、すなわち極意である。すべてのものみな因果である。初心からの芸能の数々は因である。能を究め、名を得ることは果である。されば稽古にあたる因をおろそかにすれば、果を得ることは難しい。これをよくよくわきまえること。

また時の運とは恐るべきもの。去年、盛りであれば、今年花がないことを悟るべし。時には男時おとぎ、女時めとぎというものがある。どのようにしても能にはよい時があれば、必ずまた悪い時もある。これは人智の及ばぬ因果というものだ。これを心得て、さほど重要ではない申樂の立合い勝負に、あまり主張も立てず骨も折らず勝負に負けようとも心にかげず、手も束ねて、少な少など能をする。観客もこれはどうしたことかと興醒めきせいめでいる所へ、大事の申樂の日、手立てを交え十八番の能を、精一杯力を入れてやつて見せるのだ。これで観客に意外の気持ち生まれ肝要の立ち合い、大事の勝負に必ず勝てるというわけだ。これが珍しさの大きな効果である。前回悪かつたという因果が、今度はよい方に廻るのだ。

およそ三日に三公演申楽がある時、初日には技もほどほどにあしらって、三公演のここ一番という時に、よい曲でしかも得意な芸を精魂込めてやってみる。一日のうちでも立合い勝負のさなか、自然に女時につかまってしまうことがある。立ち上がりは手をこまねいて待つ。敵の男時が女時に転じた頃合いを見逃さず、よい能を採み寄せて出すのだ。ここがふたたびこちらの男時に転じる時分である。ここで能がよく出で来れば、その日の目玉を演じるのだ。

さて男時、女時とはすべての勝負に必ずどちらか一方が色めいて、いい感じになるときがある。これを男時と心得る。勝負の回数が多く長くなれば、双方へ移り変わり、移り変わりするものである。ある書には「勝負神しょうぶかみというて勝つ神様、負ける神様それぞれがご自分の勝つ部屋、負ける部屋を定め守っておられる。弓矢の道ではこれを第一の秘事となす」とある。敵方の申楽がよく出で来れば、勝つ神様はあちらにいらっしやると心得、まず畏かしこまるべきだ。これは時の間の因果を司まる二神にしんにてましませば、双方へ移り変わり、移り変わりなさるのである。ふたたびこちらの時分がきたと感じたら、自信のある能を出すこと。これすなわち、演能の場の因果である。返す返すおろそかに思ってはならない。信じてやるからこそよい結果がついてくる。

(中略)

応永二十五年 六月一日

世阿 在判

(出典：世阿弥『現代語訳風姿花伝』水野聡訳、株式会社PHP エディターズ・グループ、二〇〇五年、八七〜一〇一ページ)

問一 本文中に「花は心、種は技」とあるが、あなたが専門とする芸能における「花と種」について、具体例を挙げながら四〇〇字以内で述べなさい。

問二 本文中に「因果の花」とあるが、あなたが専門とする芸能における「因果」について、あなたの実体験に基づきながら八〇〇字以内で述べなさい。

令和三年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験問題
科目名 〈初見視唱〉 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」 問題 A

①若松詞

わぬや中城
若松どやゆる

みやだいらごとあてど

首里にのぼる

廿日夜のくらさ

行先やまよて

ことに山路の

露もしげさ

③若松詞

御縁てす知らぬ
恋の道知らぬ

しばし待ちかねる

夜明しら雲

④小僧(一)詞

昔から寺や
女禁止さらぬ

いきやる事あて

とまいてきちやが

②女詞

たるよ夜深さに

宿からんでいふすや

親の留守やれば

自由もならぬ

出典・伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年 榕樹社

*一部、異体字を改め、句読点については省いた。

令和三年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験問題
科目名 〈初見視唱〉 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」 問題 B

①女詞

親の留守なかに
宿からち置て

与所知れてわぬや

憂名立ちゆめ

③女詞

七つ重べたる
年頃の里に

思事のあてど

とまいてきちやる

②若松詞

おやの留守てやり
自由ならぬでいふすに

繰返ちまたや

いひぐれしやあすが

わぬや中城

若松どやゆる

みやだいらごとあてど

首里にのぼる

④小僧(一)詞

尋ねゆる里や
夢やちやうも見たぬ

急ち立辰れ

女わらへ

出典・伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年 榕樹社

*一部、異体字を改め、句読点については省いた。

I. 右側の楽譜はモーツァルト作曲《交響曲第35番》からの抜粋です。以下の設問に答えなさい。
 1. ①～④の2音間の音程を楽譜冒頭の例に倣って答えなさい（複音程は単音程に直すこと）。

2. a～eの和音の種類を以下から選択して、その記号を答えなさい。

(ア)長三和音 (イ)短三和音 (ウ)増三和音 (エ)減三和音

(オ)属七の和音 (カ)減七の和音 (キ)短七の和音

3. a, cの和音を含む調名を、解答欄の例に倣ってすべて答えなさい。（短調は和声短音階に限る）

4. 1) A部分を支配する調をドイツ語で答えなさい。

2) A部分の調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書き、和音記号も下に書きなさい。

5. 冒頭から最下段☆のある小節部分までを $J=120$ のテンポで演奏した時の計算式と所要時間を答えなさい。（ただし、演奏によるテンポの変化は無いものとする）

II. 次の楽語の意味を答えなさい。

con spirito, brillante, pietoso, feroce, sostenuto,

例

A

C

d

e

☆

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

科目名: 楽典 (解答用紙)

受験番号	
------	--

I

1.	例 完全8度	① 長3度	② 長6度
	③ 増2度	④ 短3度	⑤ 増1度
	⑥ 長7度	⑦ 完全5度	⑧ 増4度

2.	a ア	b カ	c イ	d カ	e オ
----	-----	-----	-----	-----	-----

3.	例	c-moll, f-moll, As-dur, Es-dur, Des-dur
		
	a	G-dur, D-dur, A-dur, g-moll, fis-moll
c	h-moll, D-dur, fis-moll, A-dur, G-dur	

4.	1) h-moll		
	2) 主和音	下屬和音	屬和音
			
和音記号	(I)	(IV)	(V)

5.	計算式 $34 \times 4 \times 60 \div 120 = 68$	所要時間 68 秒
----	---	-----------

II

con spirito	元気に
brillante	はなやかに、活発な
pietoso	あわれみをもって
feroce	野生的に激しく、粗野に
sostenuto	各音を十分に保持して

科目名：楽典 専攻名・コース名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1. 次の楽譜は、岡野貞一作曲《ふるさと》の旋律である。次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

- (1) この曲は、何拍子か。次の中から選びなさい。
8分の6拍子 4分の3拍子 2分の2拍子 8分の2拍子 4分の4拍子
- (2) この曲は、何調か。次の中から選びなさい。
イ短調 へ長調 ト長調 ホ短調 へ短調
- (3) あ、い の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例のように答えなさい。
- (4) か、き の記号の名前と意味を答えなさい。
- (5) この曲の さ、し、す の部分に最もふさわしい和音を次のア～ウの中から選び、記号で答えなさい。また、そのコードネームを選んで答えなさい。

和音

ア	イ	ウ
コードネーム：C、F、B ^b 、C ^m		

(6) この曲を $J=80$ の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。(演奏上の速度の変化は無視すること)

(7) この楽譜の3段目(9小節目から12小節目まで)を全音高い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2. 次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

(1) 解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
ア ト短調 (和声的短音階) イ イ長調

(2) C音をもとにしたドミナント・セブンス・コードについて、C音以外の三つの音名を答えなさい。

3. 次の(1)～(9)の問いの中から、5つだけを選んで答えなさい。なお、選んだ問の番号5つを解答用紙の()に書くこと。

(1) 和声的短音階以外の二種類の短音階の名前を答えなさい。

(2) 次の中から、2分音符の長さに等しい音符の組み合わせを選び、記号で答えなさい。
ア 4分音符+8分音符 イ 付点4分音符+16分音符
ウ 全音符+4分音符 エ 8分音符+付点4分音符

(3) 次の中から、*decrescendo*と同じ意味の用語を選び、読みと意味を書きなさい。
crescendo *accelerando* *ritardando* *legato* *diminuendo*

(4) 次の三つの音を含む長調を答えなさい。

F[#]、C、G

(5) 次の中から、沖縄の民謡の一つを選んで答えなさい。

こきりこ節 アリラン 谷茶前節 こんびら船々 ソーラン節

(6) 三線の本調子において、男絃をC(ハ音)とすると、中絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 三線の二揚調子において、中絃と女絃の音程は何度か。1(3)の例のように答えなさい。

(8) 琉球箏曲の本調子において、1オクターヴの関係になる絃の組み合わせはどれか。次の中から選んで答えなさい。

四と五 二と六 四と七 三と八 十と巾

(9) 女踊り「かせかけ」で用いられる曲名(節名)を二つ答えなさい。

科目名：楽典（解答用紙）

受験番号

1. (1) 4分の3拍子 (2) へ長調

(3) [例] 短7度
あ 完全5度 い 短3度

(4) か 名前 メゾ・フォルテ 意味 少し強く

き 名前 クレシエンダ 意味 だんだん強く

(5) さ 和音 イ コードネーム B^b

し 和音 ウ コードネーム F

す 和音 ア コードネーム C

(6) 計算式

$$60 \div 80 \times 3 \times 16 = 36$$

36 秒

(7)



(演奏上の記号等は無くてもよい)

2.



(2) E、G、B^b

3.

(1) 旋律的短音階、自然的短音階

(2) エ

(3) デイミヌエント、だんだん弱く

(4) ト長調

(5) 谷茶前節

(6) F (へ音)

(7) 完全4度

(8) 三と八

(9) 干瀬節、七尺節 (さあさあ節も可)

楽典【音楽表現専攻（作曲理論コースを除く）】

以下の楽譜は、L.v. ベートーヴェン作曲《ピアノ三重奏曲 作品97》第2楽章の一部です。この楽譜をもとに試験当日出題される口述での設問に対し、制限時間内に口述で解答しなさい。

Scherzo
Allegro (♩=60 ca.)
L. V. Beethoven Op. 97

The musical score consists of three staves: Violin (VI.), Violoncello (Vc.), and Pianoforte (Pf.). The score is divided into measures 5, 10, 15, 20, and 25-30. The key signature is one flat (B-flat major/D minor). The time signature is 3/4. The tempo is Allegro (♩=60 ca.). The score includes dynamics such as *cresc.*, *p*, and *dolce*. The score is for Scherzo, Allegro (♩=60 ca.) by L. V. Beethoven Op. 97.

科目名：楽典【音楽表現専攻（作曲理論コースを除く）】

設問

1. ピアノ・バートの23小節目第3拍の音を、下から順にドイツ音名で答えなさい。
2. 3段目は何調から何調に転調しているか答えなさい。
3. 4段目の最初の小節に書かれた楽語の読みと意味を答えなさい。
4. 1段目のチェロの旋律を、この曲に相応しい tempo と正確なりズムで、音程を付けずに do, re, mi... で答えなさい。

令和3年度沖縄県立芸術大学音楽学部 学校推薦型選抜

科目名：楽典（音楽表現専攻【作曲理論コースを除く】）解答用紙

受験番号	
------	--

【重要】 楽典の受験者は、この解答用紙と大学ホームページからダウンロードした楽譜を手元に用意して、受験してください。当日、手元に用意していない場合には、試験を実施することができませんので、注意してください。

【注意事項】

- ・参考資料やノートやメモは、口述試験の時間中、見てはいけません。自分から見えない所に置き、口述試験の画面以外のウィンドウはすべて閉じてください。
- ・手元には、ダウンロードした楽譜、解答用紙、筆記用具のみを用意してください。
- ・ダウンロードした楽譜と解答用紙は、書き込みのないものを使ってください。
- ・口述試験が始まったら、楽器や声などで音を出してはいけません。

【解答】

① C, C, G, B, C, E

② B-durからF-dur

③ ピッツィカート 弦を弾いて演奏する

④（書かずに口述で解答）

「唱え」という設問のため、解答例掲載なし

以下の楽譜は、『螢の光』の旋律です。この楽譜をもとに試験当日出題される口述での設問に対し、制限時間内に口述で解答しなさい。

- ① この曲の拍子を答えなさい。
- ② 2段目の4小節目の第4拍に書かれた強弱記号の読みと意味を答えなさい。
- ③ 3段目の1小節目の第3拍の音と第4拍の音の音程は、長3度です。では、その次の小節の第3拍の音と第4拍の音の音程を答えなさい。
- ④ 1段目の旋律を、速度表示にしたがい、正しいリズムで、音程を付けずにドレミ…で唱えなさい。

令和3年度沖縄県立芸術大学音楽学部 学校推薦型選抜

科目名：楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）解答用紙

受験番号	
------	--

【重要】 楽典の受験者は、この解答用紙と大学ホームページからダウンロードした楽譜を手元に用意して、受験してください。当日、手元に用意していない場合には、試験を実施することができませんので、注意してください。

【注意事項】

- ・参考資料やノートやメモは、口述試験の時間中、見てはいけません。自分から見えない所に置き、口述試験の画面以外のウィンドウはすべて閉じてください。
- ・手元には、ダウンロードした楽譜、解答用紙、筆記用具のみを用意してください。
- ・ダウンロードした楽譜と解答用紙は、書き込みのないものを使ってください。
- ・口述試験が始まったら、楽器や声などで音を出してはいけません。

【解答】

①

4分の4拍子

②

メヅ・フォルテ

少し強く

③

完全5度

④（書かずに口述で解答）

「唱え」という設問のため、解答例掲載なし

B-dur 8小節 4分の3拍子

A-dur 8小節 8分の6拍子

四声体和声 a-moll 2分の2拍子 8小節

① 旋律 B-dur 4分の3拍子 8小節
実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

② 旋律 A-dur 8分の6拍子 8小節
実施方法

主和音と拍子

通奏1回

前半4小節、3回

通奏1回

後半4小節、3回

通奏1回

③ 四声体和声 a-moll 2分の2拍子 8小節
実施方法

主和音と拍子

通奏7回

令和2年度沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

新曲視唱(声楽・弦楽・管打楽・音楽学コース)

- ・最初にピアノで、主和音と開始音を弾いてから予見しなさい。(予見時間は1分30秒)
- ・歌う前に、再度ピアノで主和音と開始音を弾いてから歌い始めなさい。



令和二年度 沖縄県立芸術大学音楽学部推薦入学試験

科目名：初見視唱（専攻コース名：琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース）

組踊「執心鐘入」

若松詞

露でやんす花に

宿かゆる浮世

慈悲よ御情に

からち給うれ

女詞

親の留守なかに

宿からち置て

与所知れて我ぬや

浮名立ちゆめ

若松詞

悪縁や袖に

結ばはんばからひ

我身や首里みやだいら

やてど行きゆる

小僧（一）詞

やかれよも座主が

かじめたる若衆

留守ならば互に

語る嬉しや

出典『組踊 執心鐘入』（沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻台本） 沖縄県立芸術大学

小論文（音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース）

1. 出題の意図

出題は、現代の社会と音楽・舞踊との関わりについて論じさせることにより、受験者が音楽・舞踊にどのように接し、どのように考えているか、またその考えをどのように他者に対して的確に伝えることができるかを問うものである。

2. 評価の観点

- ・音楽や舞踊に対する知識・理解、関心・問題意識
- ・論理性、思考力
- ・独創性、発想力
- ・文章構成力・表現力（誤字脱字や文章の技術等も含む）

令和4年度

試験曲

音楽学部個別学力検査等

令和3年8月 発行

公立大学法人



沖縄県立芸術大学

OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-8602

沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 098-882-5080 (教務学生課)

<http://www.okigei.ac.jp>

JASRAC 出 2003702-001